



2020年12月期第2四半期 決算説明資料
August 5th , 2020

株主・投資家の皆様へ

新型コロナウイルス感染症に苦しんでおられる方々には、心よりお見舞い申し上げます。

当期に入り間もなくして広まったこの感染症は外食産業を直撃し、売上高が激減したことで収益や資金繰り計画が大きく崩れた結果、当社は第1四半期決算を発表する時点で、継続企業的前提に関する注記（いわゆるG C注記）を付すこととなりました。

収益改善に向けた経営合理化のため、複合施設「G-Zone銀座」の撤退を決定するとともに、役員報酬や従業員給与の減給をはじめとした固定費の削減にも着手いたしました。

営業面においては、デリバリー&テイクアウトの対応店舗を倍に増やし、この分野の第2四半期会計期間の売上高は第1四半期の3.5倍となりましたが、売上比率では、第2四半期会計期間だけをみても全体の10%程度であり、減収分を補えるまでには至っていないのが現状であります。

米国子会社（2店舗）においては、新型コロナウイルス感染症の影響は日本より大きく、約3か月間の臨時休業（店内飲食禁止）に苦しんでおりましたが、米政府融資による財務手当てと

立地・施設特性を活かした「アウトドア ダイニング」というコンセプトで営業再開に果敢に取り組んでおり、足元の7月度の月商はほぼ前年並みまで回復したところであります。

当面、業務効率化を含めてコスト削減を継続しつつ、比較的業績回復が堅調な住宅街隣接立地や商業施設においてデリバリー・テイクアウトの拡充、ランチ・アイドルタイムを強化するためのメニュー開発、お客様に足を運んでいただけるようなエンターテインメント性の高い販促施策・イベントの実施に取り組んでまいります。そして、今年9月にオープン予定である「らぼーと愛知東郷」への出店では、今後の多店舗展開も見据えた新業態「ラ・ボエム パスタフレスカ」（パスタ専門店）にも着手してまいります。

感染症が収束するまでの間、状況を注視しつつ、お客様と全従業員の安心・安全を大前提として、あらゆる手段を講じてこの苦境を乗り越えていく覚悟であります。

株主・投資家の皆様には、引き続きご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長
長谷川 耕造

2020年12月期第2四半期 決算報告

I. 業績サマリー

• 損益計算書の概要(連結)	5
• 会社別実績概要	6
• 貸借対照表の概要(連結)	7
• キャッシュ・フローの概要(連結)	8
• 過去5年間 売上高等主要数値の推移(連結)	9

II. 事業計画サマリー

• 2020年12月期 通期業績予想 <未公表>	10
--------------------------	----

III. 2020年上期の概況

• 2020年上期(国内)売上高前年対比率 月次推移	12
• 2020年上期(国内)客数と客単価の前年同期比推移	13
• 2020年上期の概況	14
• 2020年上期 国内業態別業績	15
• 2020年上期 海外米国店舗別業績	16
• 2020年上期 店舗紹介	17
• 2020年上期 施設メリット事例	18

IV. 2020年下期方針

• 2020年下期方針	20
• 2020年下期 新店紹介	21
• 2020年下期 ランチ・アイドルタイム強化事例	22
• 2020年下期 米国営業方針	23

参考資料

• 展開コンセプト	25
• 国内コンセプト別既存店売上高推移	26
• 国内コンセプト別既存店営業利益率推移	27
• 損益計算書概要 – 国内	28
• 損益計算書概要 – 連結子会社(米国)	29
• 赤字店10店舗	30

I. 業績サマリー

損益計算書の概要(連結)

連結	2020年12月期 第2四半期 累計期間		2019年12月期 第2四半期 累計期間		差異	
売上高	2,451		4,683		(2,231)	-47.6%
営業利益	(854)	-34.8%	(5)	-0.1%	(849)	-
経常利益	(833)	-34.0%	26	0.6%	(859)	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	(940)	-38.4%	7	0.2%	(947)	-
1株当たり 当期純利益	△91円98銭		0円70銭			

(単位:百万円)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、業績予想の合理的な算出が困難な状況が続いているため、計画値につきましては未定とさせていただきます。

期中平均株数(単位:千株) 為替レート
 2020/6/30: 10,227 USD/JPY 107.74
 2019/6/30: 10,224 USD/JPY 107.79

【売上高】

国内外ともに、新型コロナウイルス感染症の影響や一定期間の休業、営業時間短縮により売上が大幅に減少。

【国内】前年同期比で全店・既存店共に売上高が減少。

コンセプト別既存店では、前年同期比でゼストキャンティーナ、権八が60%近く売上を落とした。

前年同期比: 全店△47.6% 既存店△42.5%

【米国】前年同期比で2店舗ともに売上高が大幅に減少。

前年同期比(USDベース): 全店△47.7%

【コスト】

【国内】売上原価率は、前年同期比で全項目が悪化し、全体で28.5ポイント悪化。

特に、労務費率が前年同期比で11.7ポイントの大幅悪化。

【米国】売上原価率は、前年同期比で全項目が悪化し、全体で30.0ポイント悪化。

会社別実績概要

国内	2020年12月期 第2四半期 累計期間		2019年12月期 第2四半期 累計期間		差異	
	売上高	2,333	100.0%	4,456	100.0%	(2,123)
営業利益	(782)	-33.5%	48	1.1%	(830)	-
経常利益	(761)	-32.6%	79	1.8%	(840)	-
当期純利益	(1,733)	-74.3%	60	1.4%	(1,794)	-

(単位：百万円)

米国	2020年12月期 第2四半期 累計期間		2019年12月期 第2四半期 累計期間		差異	
	売上高	118	100.0%	226	100.0%	(108)
営業利益	(72)	-60.8%	(53)	-23.8%	(18)	-
経常利益	(71)	-60.6%	(53)	-23.6%	(18)	-
当期純利益	(71)	-60.6%	(53)	-23.6%	(18)	-

(単位：百万円)

※上記は連結修正前の会社別数値です。

米国の業績悪化に伴い、国内の特別損失として関係会社株式評価損864.9百万円を計上しております。
当該関係会社株式評価損は、連結決算上では相殺消去されるため、連結業績への影響はございません。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、業績予想の合理的な算出が困難な状況が続いているため、
計画値につきましては未定とさせていただきます。

貸借対照表の概要(連結)

	2020年12月期 第2四半期		2019年12月期 通期		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
流動資産	1,029	15.7%	1,001	15.0%	27	2.7%
現預金	717		319		398	
売掛金	134		358		(224)	
原材料及び貯蔵品	115		162		(47)	
商品及び製品	10		18		(7)	
その他	51		142		(91)	
固定資産	5,526	84.3%	5,677	85.0%	(150)	-2.7%
有形固定資産	4,207	64.2%	4,295	64.3%	(87)	-2.0%
建物・構築物	1,411		1,467		(55)	
工具器具	164		182		(17)	
土地	2,621		2,633		(11)	
リース資産	9		11		(1)	
無形固定資産	2	0.0%	1	0.0%	0	33.0%
投資その他の資産	1,316	20.1%	1,380	20.7%	(63)	-4.6%
投資有価証券	13		16		(3)	
長期前払費用	12		8		3	
繰延税金資産	0		53		(53)	
差入保証金	1,291		1,301		(10)	
総資産	6,555	100.0%	6,679	100.0%	(123)	-1.8%

	2020年12月期 第2四半期		2019年12月期 通期		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
負債合計	3,985	60.8%	3,138	47.0%	847	27.0%
流動負債	2,459	37.5%	1,701	25.5%	757	44.5%
買掛金	174		378		(204)	
短期借入金	630		0		630	
1年内返済予定長期借入金	364		377		(13)	
未払費用	432		361		71	
前受金	293		22		270	
未払法人税等	110		81		28	
店舗閉鎖損失引当金	24		38		(14)	
資産除去債務	158		167		(8)	
その他	271		272		(1)	
固定負債	1,526	23.3%	1,436	21.5%	89	6.3%
長期借入金	789		742		46	
長期リース債務	6		8		(1)	
退職給付に係る負債	37		40		(2)	
繰延税金負債	48		0		48	
資産除去債務	643		644		0	
純資産	2,570	39.2%	3,540	53.0%	(970)	-27.4%
資本金	1,485		1,485		0	
資本剰余金	2,140		2,140		0	
利益剰余金	(884)		56		(940)	
為替換算調整勘定	(185)		(165)		(19)	
その他	14		24		(10)	
負債・純資産合計	6,555	100.0%	6,679	100.0%	(123)	-1.8%

(単位:百万円)

現預金は、営業収支以外で新規借入による増加、設備投資・備品費等の支払、借入返済による減少があり、398百万円の増加。

売掛金は、売上高減少に伴い、224百万円の減少。

有形固定資産は、新規出店に伴う建物・工具器具取得による増加もあったが、減価償却等により、87百万円の減少。

買掛金は、売上高減少に伴い仕入額が減少し、204百万円の減少。

短期借入金は、手形貸付による運転資金の借入を実行し、630百万円の増加。今後の業績や資金繰り状況により、長期借入金への契約変更を依頼する予定。

1年内返済予定を含む長期借入金は、銀行借入金の通常返済による減少もあったが、社長借入や政府融資(米国子会社)での借入を実行し、33百万円の増加。

前受金は、退店要請(7月末)の合意の対価としての立ち退き料が入金された為、270百万円の増加。

純資産は、当期純損失の影響により、970百万円の減少。

キャッシュ・フローの概要(連結)

連結	2020年12月期 第2四半期	2019年12月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	(228)	55	(284)
税金等調整前四半期純損益	(831)	23	(854)
減価償却費	91	107	(15)
為替差損益	(0)	2	(3)
減損損失	0	3	(3)
店舗閉鎖損失引当金増減額	(14)	0	(13)
売上債権の増減額	224	85	139
前払費用増減額	92	16	75
たな卸資産の増減額	54	23	30
仕入債務の増減額	(204)	(71)	(132)
その他未払金増減額	(39)	(53)	14
未払費用増減額	80	(29)	110
前受収益増減額	(13)	(46)	32
未払消費税増減額	(14)	(12)	(1)
前受金の増減額	270	5	264
預り金増減額	79	6	72
外形標準課税	22	(0)	23
利息の支払額	(6)	(4)	(1)
法人税等の支払額	0	(7)	7
その他	(19)	7	(28)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(35)	26	(62)
有形固定資産の取得による支出	(26)	(32)	5
資産除去債務の履行による支出	(8)	0	(8)
保証金の回収による収入	14	70	(55)
保証金の差入による支出	(13)	(10)	(2)
その他	(2)	(2)	(2)
財務活動によるキャッシュ・フロー	666	(21)	688
短期借入れによる収入	630	0	630
長期借入れによる収入	192	670	(477)
長期借入金の返済による支出	(153)	(689)	536
その他	(3)	(2)	(1)
現金及び現金同等物に係る換算差額	(3)	(0)	(3)
現金及び現金同等物の増減額	398	59	339
現金及び現金同等物の期首残高	319	272	46
現金及び現金同等物の期末残高	717	331	386

●営業活動によるキャッシュ・フローは、前年比△284百万円の228百万円のキャッシュアウト。

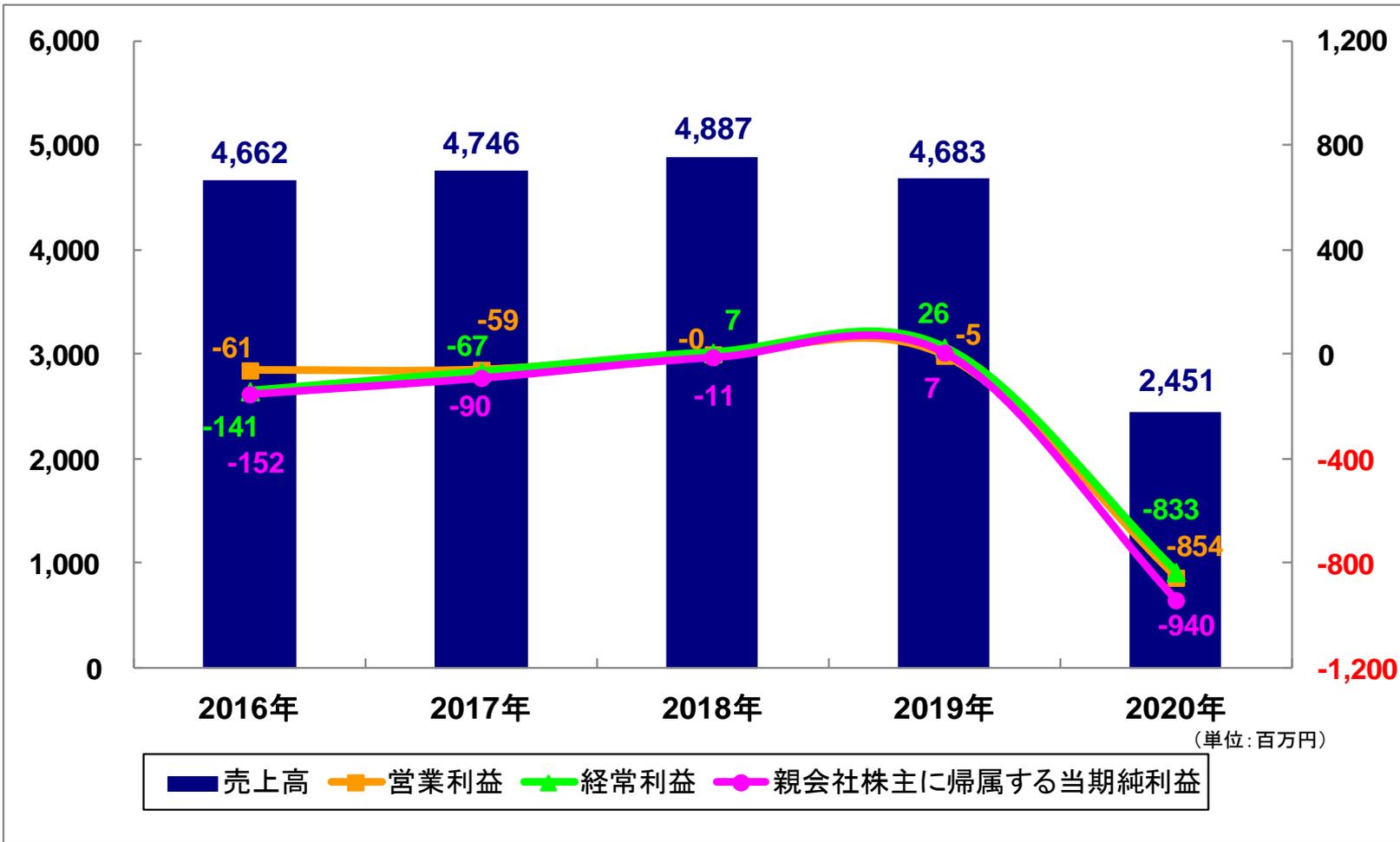
●投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店や設備入替工事に伴う有形固定資産取得による支出、新規店舗の敷金支払に伴う保証金の差入による支出、閉店店舗の引き渡し完了に伴う保証金の回収による収入などがあり、前年比△62百万円の35百万円のキャッシュアウト。

●財務活動によるキャッシュ・フローは、総額822百万円の借入、153百万円の借入金返済で前年比+688百万円の666百万円のキャッシュイン。

●現金及び現金同等物は、398百万円のキャッシュインとなり、期末残高は717百万円。

(単位: 百万円)

過去5年間 売上高等主要数値の推移(第2四半期連結累計期間)



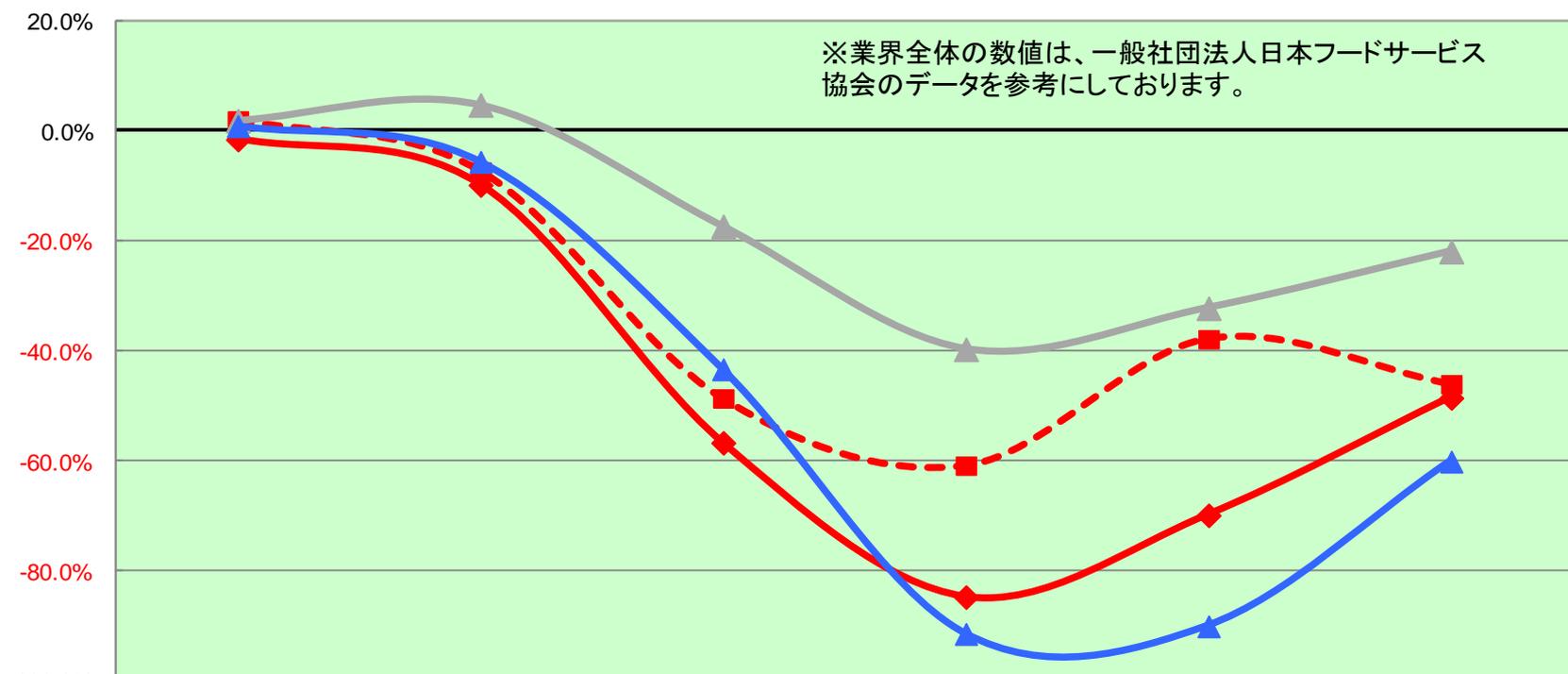
- 売上高は、国内外ともに新型コロナウイルスの影響により大幅に減少。
- 当期純利益は、前年度上半期の黒字着地に対し、今年度上半期は大幅赤字で着地。

Ⅱ．事業計画サマリー

当社グループの業績予想については、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算出することが困難であることから、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

Ⅲ. 2020年上期の概況

2020年上期 (国内)売上高前年対比率 月次推移



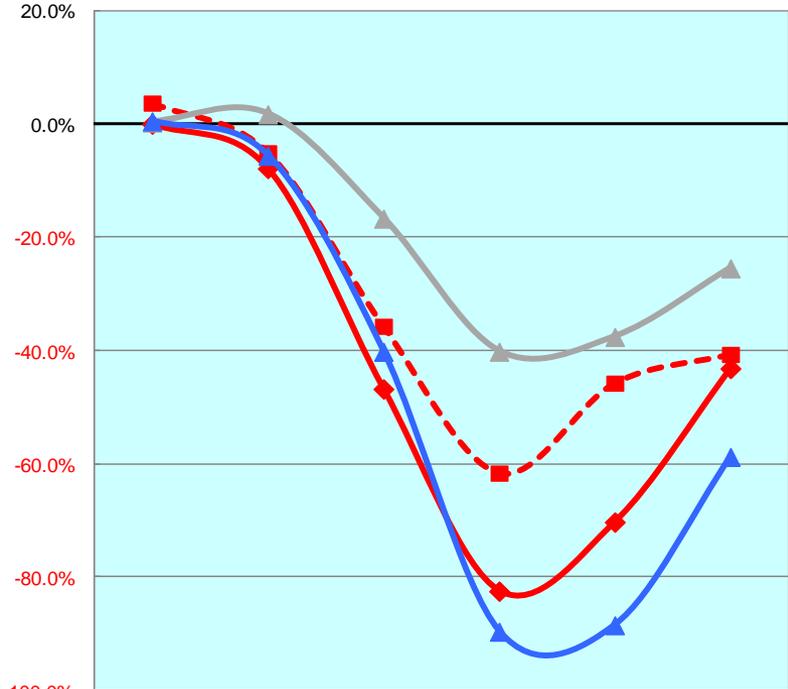
	'20/1	'20/2	'20/3	'20/4	'20/5	'20/6
国内全店合計	-1.5%	-9.7%	-56.6%	-84.7%	-69.8%	-48.5%
国内既存店合計	2.0%	-7.3%	-48.6%	-60.8%	-37.8%	-46.0%
外食業界全体	1.9%	4.8%	-17.3%	-39.6%	-32.2%	-21.9%
パブレstran	1.0%	-5.5%	-43.3%	-91.4%	-90.0%	-60.1%

2020年12月期 第2四半期 国内店舗売上高前年比
 全店 △47.6%
 既存店 △42.5%

2020年 主な出退店
 1月 「GOOD LIFE FACTORY」 閉店
 3月 「BARTIZAN BREAD FACTORY」 出店
 5月 「LB6」 閉店

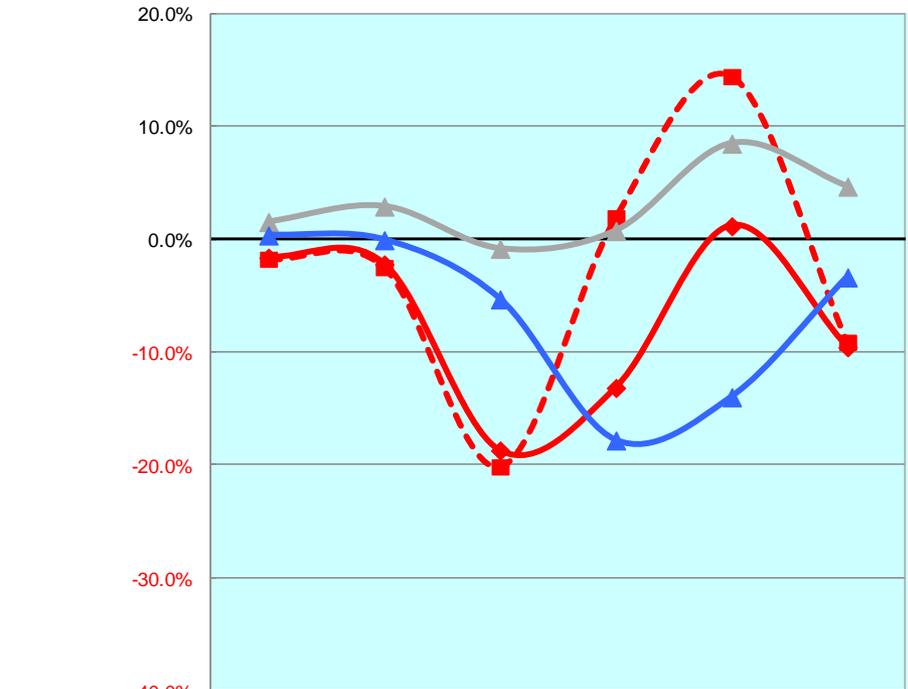
2020年上期 (国内)客数と客単価の前年同期比推移

客数



2020年12月期 第2四半期
 全店△44.1% 既存店△37.9%

客単価



2020年12月期 第2四半期
 全店△6.4% 既存店△7.3%

●新型コロナウイルス感染症拡大による影響が外食産業を直撃

- 緊急事態宣言下の約1か月間、最大22店舗（国内）が休業（一部デリバリー&テイクアウト実施）
- オフィス街やインバウンド層の来店が多かった和食業態への影響大
- 国内売上高前年同期比47.6%減（既存店42.5%減）
- 賃貸契約の見直しのお願いと役員報酬・従業員給与の減給に着手し、固定費削減

●ロケーション・施設メリットを活かした営業体制

- テラス席や開放的な空間など施設メリットを最大限に活用
- デリバリー&テイクアウト対応店舗を拡大（対応店舗数は21店舗から42店舗に）

●出退店

- 1/15 サラダ専門店『GOOD LIFE FACTORY』（南青山GLF）を閉店
- 3/9 南青山GLF跡地にベーカリー『BARTIZAN BREAD FACTORY』をオープン
※浜松町にある『BARTIZAN Bread & Pasta』（旧店名『BARTIZAN Bakery&Cafe』）からベーカリーを独立
- 5/31 『L B 6』（六本木）を閉店

●海外（米国）子会社

- 3月16日~6月8日 コロナ&デモの影響でほぼ営業停止状態（店内飲食禁止）
- 6月9日~各席6フィート（約183cm）の間隔を保ちながら店内営業再開
「ラ・ボエム」は屋外ガーデンパティオを積極活用

2020年上期 国内(業態別業績)

(単位:百万円)

全店

2020年12月期 第2四半期	合計
売上高	2,333
全店前年比	-47.6%
既存店前年比	-42.5%
営業利益	(782)
営業利益率	-33.5%
期末店舗数	45

カフェ ラ・ボエム	ゼスト キャンティーナ	モンスーン カフェ	権八	Dinner&LB	FC	その他	本部 販管費
696	71	597	593	196	51	126	-
-41.8%	-57.1%	-44.9%	-57.3%	-40.3%	-45.4%	-35.3%	-
-29.5%	-58.3%	-33.5%	-56.6%	-32.3%	-45.4%	-38.5%	-
(56)	(38)	(59)	(138)	(97)	0	(52)	(338)
-8.1%	-54.4%	-9.9%	-23.3%	-49.8%	0.2%	-41.5%	0.0%
12	3	10	8	6	1	5	-

2019年12月期 第2四半期	合計
売上高	4,456
営業利益	48
営業利益率	1.1%
期末店舗数	46

カフェ ラ・ボエム	ゼスト キャンティーナ	モンスーン カフェ	権八	Dinner&LB	FC	その他	本部 販管費
1,197	167	1,084	1,388	328	95	195	-
126	(20)	96	222	(42)	15	(0)	(350)
10.6%	-12.0%	8.9%	16.0%	-12.8%	16.6%	-0.4%	0.0%
13	3	10	8	7	1	4	-

- ・インバウンド需要の激減、かつ、1店舗を除いて臨時休業した権八の減収が大きく影響。
- ・カフェ ラ・ボエムやモンスーンカフェでは、テラス・折り戸といった開放的な施設や住宅隣接立地が業績を下支えし、回復傾向に。

※Dinner&LB: 「ブラスリータブローズ」「タブローズラウンジ」「カフェレガート」「ステラート」「LB」「リグニス」

※その他: 「バルティザン ブレッド アンド パスタ」「バルティザン ブレッド ファクトリー」「デカダンス ドュ ショコラ」「グッド ライフ ファクトリー」の他、ウエディングサロンの売り上げが含まれます。

※「タコファナティコ」はゼストに含んでおります。

2020年上期 海外(米国 店舗別業績)

売上高

1,100千ドル (前年同期比 $\Delta 1,004$ 千USDドル)

2020年12月期 第2四半期	合計
売上高	1,100
前年比	-47.7%
営業利益	(668)

2019年12月期 第2四半期	合計
売上高	2,104
営業利益	(500)

営業損失

$\Delta 668$ 千ドル (前年同期比 $\Delta 168$ 千USDドル)

La Boheme	1212 (twelve twelve)	本部 販管費
297	802	0
-37.7%	-50.6%	-
(85)	(356)	(226)

La Boheme	1212 (twelve twelve)	本部 販管費
477	1,626	0
(114)	(101)	(284)

(単位: 千USDドル)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により営業停止状態が続き、レイオフ（一時解雇）実施。
- ・営業再開後、誰もが気軽に楽しめるメニュー構成への変更、オールナイトハッピーアワーやDJ・ライブミュージックによるエンターテインメントを実施。
- ・ラ・ボエムは屋外パティオの活用により業績回復に向かう。
- ・財政面では政府融資(Paycheck Protection Program)による借入を実行し、資金繰りは安定。

2020年上期（新店紹介） BARTIZAN BREAD FACTORY

BARTIZAN
BREAD FACTORY

3月9日（月）南青山（GLF跡地）にオープン



【店舗名】 **BARTIZAN BREAD FACTORY**

バルティザンブレッド ファクトリー

【所在地】 東京都港区南青山7丁目1 1-4

H・T 南青山ビルディングⅢ1階

【営業時間】 8:00~16:00

※パンが売り切れ次第終了

【業態】 ベーカリー（イートインあり）

【特徴】 砂糖や油脂をつかわず、自家製酵母で丁寧に焼き上げた自慢の「バルティザン サワードウ」をはじめ、全粒粉タイプ、月替わりのマンスリーブレッド、サンドイッチ用チャパタ、バケット、穀物とライ麦粉100%のグレインなど、ハード系ブレッドを中心に販売しています。

ご購入いただいたブレッドの他、ホットサンドやコーヒーをお楽しみいただけるイートインコーナーも併設。

当社グループの『バルティザンブレッド アンド パスタ』の他、ラ・ボエムやディナー店への供給も行っており、各店の料理と共に楽しめます。

※浜松町『BARTIZAN Bakery & Cafe』（旧店名）内にあったベーカリーを独立させました。

ベーカリー分離後、同店は、『BARTIZAN Bread & Pasta』としてリニューアルオープンしています。

2020年上期 テラス・折り戸(全面開閉可能)等のある施設例 (一部抜粋)



上段：左からカフェラ・ボエム自由が丘、カフェラ・ボエム世田谷、カフェラ・ボエム白金 中段：左からLB8、タコファンアティコ、モンsoonカフェ恵比寿
 下段：左からモンsoonカフェたまプラーザ、モンsoonカフェ代官山、モンsoonカフェ表参道

IV. 2020年下期方針

●経営合理化の推進

- 撤退：7/31 複合施設『G-Zone銀座』5店舗を閉店（前年度売上高10億29百万円）
カフェ ラ・ボエム、ゼストキャンティーナ、モンズーンカフェ、権八&SUSHI権八、デカダンスデュ ショコラ銀座本店（茗荷谷に移設）
- 固定費・販管費の削減：賃貸契約の見直し、減給の継続をはじめとしてあらゆる費用の見直しを実施

●ロケーション・施設メリットを活かした営業体制

- デリバリー&テイクアウトの拡充
- ランチ・アイドルタイムの集客に向けたメニュー展開の推進
（アフタヌーンティー・スイーツ・ハッピーアワー等）

●新業態の出店

- 9/14グランドオープン『ららぽーと愛知東郷』にカジュアル業態2店舗を出店
 - ラ・ボエム パスタフレスカ：生麺を使ったパスタ専門店（新業態）
 - モンズーンカフェ：“ヘルシーエスニック”をテーマにしたファストファインカジュアル業態（さいたま新都心店に続く業態）

●海外子会社

- 7月1日より再度店内営業禁止となり、「アウトドア ダイニング」へシフト
 - 店外飲食の営業許可（非常事態下での許可）を取得し、安全でエンターテイニングなスペースが好評
 - 『ラ・ボエム』：駐車場を屋外ガーデンパティオへと簡易改装して営業
 - 『1212』：店前プロムナード（歩行者通路）にテーブルセッティング

2020年下期方針（新店紹介）ラ・ボエム&モンスーンの2業態オープン

9月14日（月）グランドオープン

「三井ショッピングパーク ららぽーと愛知東郷」の1Fに出店

【所在地】 愛知県愛知郡東郷町

愛知県
初上陸



【店 舗 名】 『ラ・ボエム パスタフレスカ ららぽーと愛知東郷』

【席数 面積】 62席（予定） 47.28坪

【営業 時間】 施設に準ずる

【業 態】 生麺を使用したパスタ専門店

【特 徴】 「カフェ ラ・ボエム」の新業態として、パスタ専門店を展開します。自家製パスタソースとモチモチの絶品生麺（浅草開花楼開発の低加水パスタフレスカ）をイートインやテイクアウトでお楽しみいただけます。



【店 舗 名】 『モンスーンカフェ ららぽーと愛知東郷』

【席数 面積】 60席（予定） 48.38坪

【営業 時間】 施設に準ずる

【業 態】 エスニック料理

【特 徴】 “ヘルシーエスニック”をテーマにしたアジア各国料理を提供します。鶏肉のガパオ炒めご飯、ベトナム風生春巻き“ゴイクン”、タイ海老トーストなど、モンスーンカフェの人気メニューをお楽しみいただけます。『さいたま新都心』店に続く、ファストファインカジュアル業態。

2020年下期方針（ランチ・アイドルタイムの強化事例）



Stellato (ステラート)

ゆったりした贅沢空間でのアフタヌーンティーが好評につき、開放的なルーフトップも活用した「夜の贅沢ハイティー」（メイン付）をスタート。ディナータイムを30分早めてご提供しています。



ハッピーアワー実施！ お得価格でドリンク・フードをご用意

- ★LB8（折り戸全面開放空間）
- ★カフェ ラ・ボエム 麻布十番
- ★カフェ ラ・ボエム 自由が丘（テラス席・1F限定）
- ★カフェ ラ・ボエム 白金（テラス席限定・雨天時店内可）

※各店舗により実施時間帯は異なります。 他



権八 NORI-TEMAKI 原宿

抹茶マスカルポーネ、ほうじ茶クリーム夏の定番商品に加えて同店限定で「フランボワーズかき氷」の提供を開始。甘酸っぱいフランボワーズシロップに風味豊かなレアチーズ & ピスタチオクリームが奏でる絶妙なハーモニーをご堪能いただけます。（かき氷提供店：浅草吾妻橋、炭焼き権八 あざみ野）



Legato (レガート)

“夏の果実”をテーマにした 極上トロピカルアフタヌーンティーをスタート！
窓側のスカイビュー席にてご提供します。



2020年下期 米国子会社:「アウトドア ダイニング」の様子



『ラ・ボエム』の駐車場をガーデンダイニングとして改装
(Los Angeles West Hollywood)

コロナ禍でストレスを抱えたお客様に、オールナイトハッピーアワーや、DJ・ライブミュージック等の提供を継続。衛生管理も徹底し、屋外でのエンターテインメントを楽しんで頂いている。

両店とも屋外の広いスペースを活用できるため、7月月次売上は、『ラ・ボエム』は前年対比プラス、『1 2 1 2』は回復基調に乗る。



『1212 (twelve twelve)』店前のプロムナード（歩行者通路）にテーブル席をセッティング
(Santa Monica)

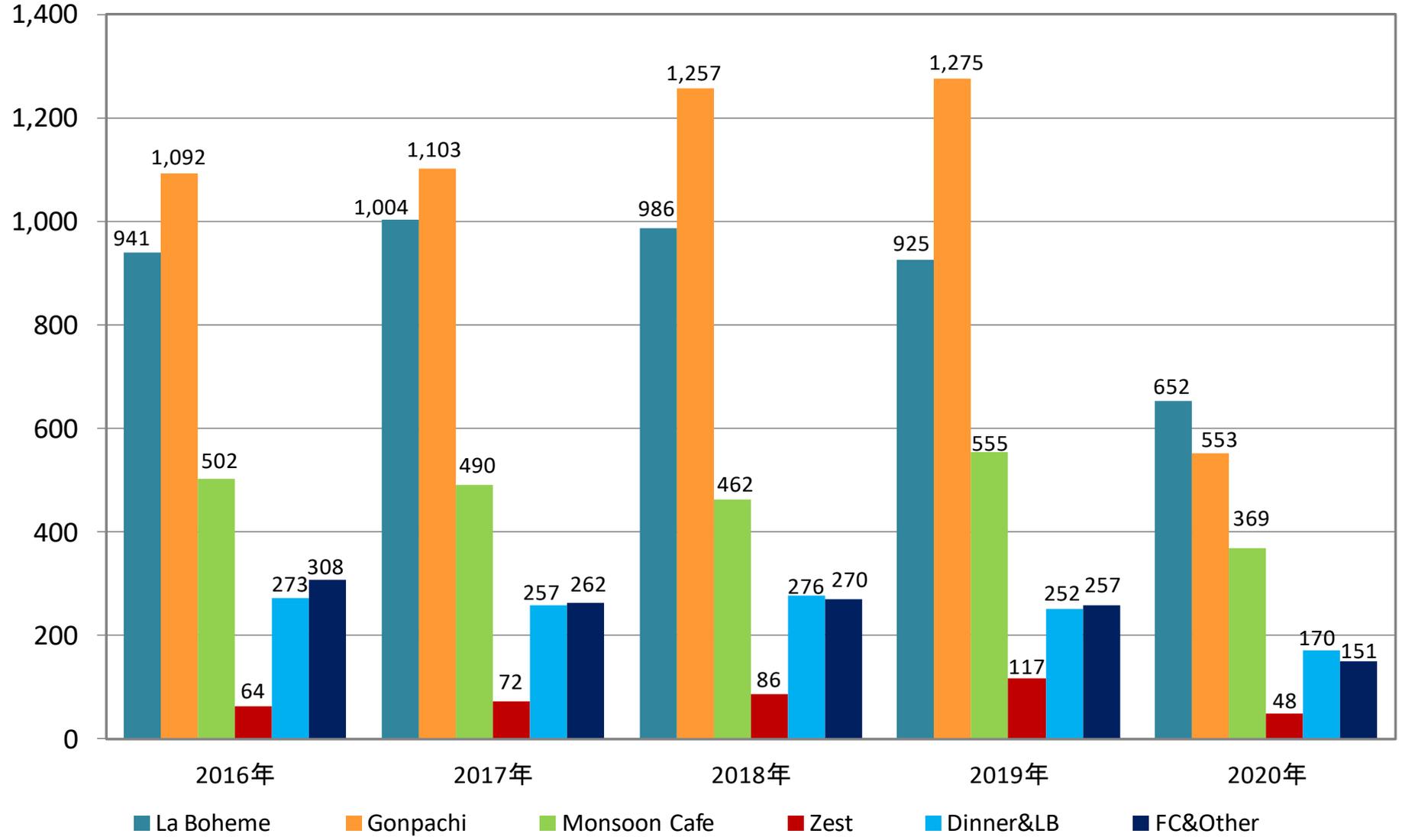
參考資料

カフェ ラ・ボエム	権 八	モンスーン カフェ	ゼスト キャンティーナ	ディナー店	※ F C ・ その他 業 態
   イタリアン	   創作和食&寿司	   エスニック	   テックスメックス	      海外(米国)  	    海外(米国) 1212  
12店舗	8店舗	10店舗	3店舗	7店舗	7店舗
696万円	593百万円	597百万円	71百万円	228百万円	264百万円
28.4%	24.2%	24.4%	2.9%	9.3%	10.8%

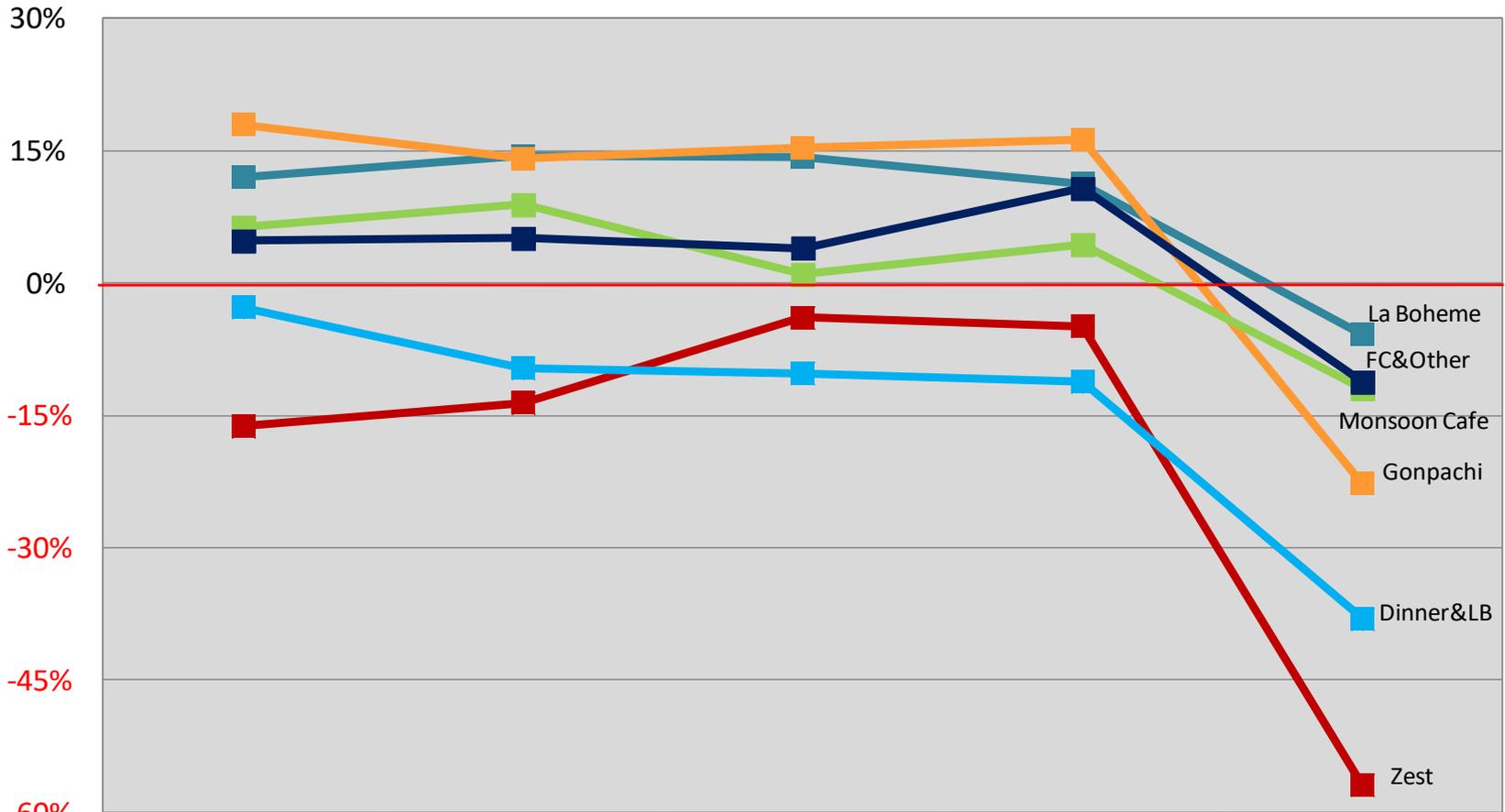
※コンセプトの「F C」とは、「FOOD COLOSSEUM(フードコート業態)」の略です。
 ※店舗数には、2020年7月31日の営業をもって閉店した「G-ZONE銀座」5店舗を含んでおります。
 ※上記金額は2020年12月期第2四半期累計期間の連結売上高とそのシェア(%)を記載しております。

国内コンセプト別 既存店売上高の推移(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)



国内コンセプト別 既存店営業利益率の推移(第2四半期連結累計期間)



	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
La Boheme	12.0%	14.4%	14.3%	11.2%	-5.8%
Gonpachi	18.0%	14.1%	15.3%	16.2%	-22.7%
Monsoon Cafe	6.3%	8.9%	1.0%	4.4%	-12.0%
Zest	-16.3%	-13.6%	-3.9%	-4.9%	-56.9%
Dinner&LB	-2.7%	-9.6%	-10.2%	-11.2%	-38.1%
FC&Other	4.8%	5.1%	4.0%	10.7%	-11.2%

損益計算書概要 - 国内

全店

2020年12月期 第2四半期	合計
売上高	2,333
全店前年比	-47.6%
既存店前年比	-42.5%
売上原価	2,743
売上総利益	(410)
販管費	371
営業利益	(782)
営業利益率	-33.5%
期末店舗数	45

2019年12月期 第2四半期	合計
売上高	4,456
売上原価	3,969
売上総利益	487
販管費	438
営業利益	48
営業利益率	1.1%
期末店舗数	46

カフェ ラ・ボエム	ゼスト キャンティーナ	モンスーン カフェ	権八	Dinner&LB	FC	その他	本部 販管費
696	71	597	593	196	51	126	-
-41.8%	-57.1%	-44.9%	-57.3%	-40.3%	-45.4%	-35.3%	-
-29.5%	-58.3%	-33.5%	-56.6%	-32.3%	-45.4%	-38.5%	-
736	106	636	705	280	50	175	51
(40)	(34)	(39)	(111)	(84)	1	(48)	(51)
16	4	19	26	12	1	3	286
(56)	(38)	(59)	(138)	(97)	0	(52)	(338)
-8.1%	-54.4%	-9.9%	-23.3%	-49.8%	0.2%	-41.5%	0.0%
12	3	10	8	6	1	5	-

カフェ ラ・ボエム	ゼスト キャンティーナ	モンスーン カフェ	権八	Dinner&LB	FC	その他	本部 販管費
1,197	167	1,084	1,388	328	95	195	-
1,050	181	966	1,147	359	77	193	(7)
146	(14)	118	241	(31)	17	1	7
19	5	21	18	11	2	2	357
126	(20)	96	222	(42)	15	(0)	(350)
10.6%	-12.0%	8.9%	16.0%	-12.8%	16.6%	-0.4%	0.0%
13	3	10	8	7	1	4	-

(単位:百万円)

※Dinner&LB: 「ブラスリータブローズ」「タブローズラウンジ」「カフェレガート」「ステラート」「LB」「リグニス」

※その他: 「バルティザンブレッドアンドパスタ」「バルティザンブレッドファクトリー」「デカダンスデュショコラ」「グッドライフファクトリー」の他、
ウエディングサロンの売上げが含まれます。

※「タコファナティコ」はゼストに含んでおります。

損益計算書概要 - 連結子会社(米国)

2020年12月期 第2四半期	合計
売上高	1,100
前年比	-47.7%
売上原価	1,543
売上総利益	(442)
販管費	226
営業利益	(668)

2019年12月期 第2四半期	合計
売上高	2,104
売上原価	2,319
売上総利益	(215)
販管費	284
営業利益	(500)

La Boheme	1212 (twelve twelve)	本部 販管費
297	802	0
-37.7%	-50.6%	-
383	1,159	0
(85)	(356)	0
0	0	226
(85)	(356)	(226)

La Boheme	1212 (twelve twelve)	本部 販管費
477	1,626	0
591	1,727	0
(114)	(101)	0
0	0	284
(114)	(101)	(284)

(単位:千USドル)

※上記は業績管理用の決算整理前数値です。

2020年12月期第2四半期 赤字店10店舗

	店舗名	2020年 第2四半期累計		
		売上	営業利益	
1	権八 & SUSHI権八 G-Zone銀座	67,311	-49,571	2020年7月31日 閉店
2	レガート	70,587	-28,607	
3	タブローズ	12,286	-27,757	
4	カフェ ラ・ボエムG-Zone銀座	40,910	-25,847	2020年7月31日 閉店
5	ゼスト キャンティーナG-Zone銀座	29,455	-24,928	2020年7月31日 閉店
6	権八 & SUSHI権八 西麻布	185,894	-24,154	
7	ウェディングサロン	25,367	-20,111	
8	BARTIZAN Bread & Pasta	16,167	-18,418	
9	モンスーンカフェG-Zone銀座	42,547	-17,891	2020年7月31日 閉店
10	カフェ ラ・ボエムお台場	44,338	-15,195	

(単位:千円)

※赤字額の大きい10店舗のみ記載させていただいております。

GLOBAL-DINING INC.

注意事項

本資料における将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。

This document contains forward-looking statements which represent the Company's expectations or beliefs concerning future events. The Company's actual results could differ materially from those stated or implied in the forward-looking statements herein.



＜資料に関するお問い合わせ＞
総務管理グループ
03-5469-3223
stock@global-dining.com